



平成二十八年三月二十日

皇紀 2676年
(西暦 2016年)
第120号

発行：淀姫神社社務所
〒859-4501
松浦市志佐町浦免632
TEL・FAX 0956-72-0653

桜の便りもちらほらと

だりが春めこんなつてままた

これを書いているのは三月二十日です。

ちよつと寒の戻りもあつたり、かと思えば四月中旬なみの陽気になったりと、相変わらず気温の乱高下が続いています。

皆さまには体調いかがお過ごしでしょうか。

さて、早いもので三月ももう終盤になりました。あちらこちらの学校では卒業式や合格発表など、子供たちにとってはひとつの節目を迎えていたりします。彼らの行く末がよいものであるようにと祈りつつ、自分のことを振り返ってみると、もう十年前のできごとなんだなあと、啞然としてしまつたり。

歳月というものは本当に過ぎ去るのが早いのだなと改めて実感している今日この頃です。

この時期、皆さまの中にも新しい一步を踏み出す方もいらっしゃるかと。その前途

がよきものであることをお祈りいたします。



祈年祭(春祭り)懸事齋行

去る三月十三日、淀姫神社春季大祭である「祈年祭(春祭り)」が、淀姫神社氏子総代会の主催のもと、無事に齋行されました。今回はその模様をちよつとだけご紹介。

今回のお祭りには、結婚50年の金婚を迎えられた白石製菓さんご夫妻より奉納いただいた椅子十脚を使わせていただきました。本

定刻である午前十一時よりちよつと過ぎてしまいました。太鼓が打ち鳴らされ、祭典開式です。まずは、お祓いお清めの儀である「修祓」から始まります。

今回お手伝いいただいた神職さんは
調川町天満神社宮司 中山政治さん
御厨町姫神社宮司 森川典幸さん
今福町今福神社禰宜 早田伸次さん
以上のお三方でした。今回もありがとうございました。



祈年祭においては、88歳米寿、77歳喜寿、結婚50年の金婚を迎えられた氏子の皆さまを称え言祝ぐ祝詞も併せて奏上されます。神さまへお一人ずつお名前をご報告し、これからの益々の弥栄をお祈りいたします。

今年平成二十八年は

◆米寿の方が十三名

◆喜寿の方が八名

◆金婚の方がお二組

いらつしゃいました。

続いて平戸神楽が三番

奉納されました。「荒塩」

「所堅」「折敷」の三番。舞

い手は森川宮司さんと早



田禰宜さんでした。お神楽の奉納が済みますと、ご神前に玉串を捧げて拝礼いたします。

神職・総代会長・各代表に引き続いて、賀寿・金婚を迎えられた方々から、男女それぞれ一名さま・また一組さまが代表として玉串拝礼をされました。

祭典終了後、賀寿・金婚を迎えられた皆さま方に淀姫神社氏子総代会より賀状が贈呈されました。



米寿を迎えられた皆さま方、喜寿を迎えられた皆さま方、金婚を迎えられたご夫妻におかれましては、これからますますご壮健であられますように。また末永くむつび和まれていかれますようお祈りして、レポートを締めくくりたいと思います。

淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。